

西暦 2025 年 8 月 14 日

2014 年 6 月から 2026 年 5 月までに肺癌・悪性胸膜中皮腫に対し 当科で診療を受けられた患者さん及びご家族の方へのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 3 月 23 日制定 令和 3 年 6 月 30 日施行）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の生体試料及び診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名 人工知能を用いた循環腫瘍細胞の画像判定システム構築
2. 研究期間 2021 年 2 月 26 日 ～ 2026 年 5 月 31 日
3. 研究機関 産業医科大学医学部第 2 外科学
4. 実施責任者 産業医科大学医学部第 2 外科学 助教 松宮 弘喜

5. 研究の目的と意義

【目的】

当研究室では、循環腫瘍細胞の研究を行っています。循環腫瘍細胞とは、血液中を移動している癌細胞のことを指します。この循環腫瘍細胞によって、癌が最初にできた箇所から、離れたところに病巣を作ります（転移）。この転移の原因となる循環腫瘍細胞を捕まえて解析することで、患者さんにとって最も良い治療が選択できるようになること、転移のメカニズムを解明し新たな治療につながることを期待して研究しています。現段階では捕まえた循環腫瘍細胞の画像を研究員が自身の目で確認していますが、より迅速により正確に評価するため人工知能による循環腫瘍細胞の画像判定ができるようになることが本研究の目的です。

【意義】

この研究で人工知能による循環腫瘍細胞の画像判定が可能となれば、格段に画像判定の速度・正確性が向上し、CT などの画像検査で見つかるよりも早い段階で転移や再発を見つけることが可能となり、癌診療がこれまでよりも患者さんにとってより良いものとなっていくことが期待されます。

6. 研究の方法

2014 年 6 月から 2026 年 5 月までに肺癌・悪性胸膜中皮腫に対する診療をされた患者さんが対象となります。血液検査によって発見された循環腫瘍細胞の画像・カルテ情報を人工知能に学習させて、人工知能が循環腫瘍細胞を判定できるようにします。

7. 個人情報の取り扱い

この研究で得られた個人情報は、研究終了後 5 年間保存された後、研究実施責任者の管理の下、完全に匿名化（個人識別不可能で、対応表なし）したことを確認し、シュレッダーにかけて復元ができないようにして廃棄します。また利用の拒否の申し出があった場合にも、その時点までに得られた個人情報を、同様の措置にて廃棄します。

8. 問い合わせ先

北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

産業医科大学医学部第2外科学 助教 松宮 弘喜 TEL 093-691-7442

9. その他

この研究に伴う謝礼はありません。

この研究の参加による直接的な利益はありません。

この研究は本学第2外科学講座研究費により、本学の主任研究者（及びそのグループ）のもとで公正に行われます。

この研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。